

エネルギー消費の効率化等に資する我が国技術の 国際実証事業 平成30年度予算額 132.0億円（140.0億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 省エネルギー、再生可能エネルギーに係る我が国の先進的な技術・システムについて相手国政府・企業と共同で実証を行います。
- 具体的には、我が国の先進的な技術・システムを相手国の自然条件や規制・制度等に応じ柔軟に設計し、現地における実証を行い有効性や優位性を可視化します。
- さらに、実証後の普及展開に向け、相手国政府による我が国の先進的な技術・システムの採用・活用を促すとともに、フォローアップセミナー等の各種普及支援を徹底し、類似の課題に直面する他地域への波及に結び付けます。

成果目標

- 平成23年度からの事業であり、本事業を通じて世界全体における化石燃料依存を低減させることで、我が国のエネルギー安定確保に貢献します。平成32年度までに15件の新市場を創造し、それにより国際的な原油削減の累積効果が1,968万kLとなること等を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

エネルギー分野の課題発見

- ・課題・ニーズの把握
- ・詳細調査

省エネ
最適利用
系統安定化



課題解決に向けた協力合意

- ・両国の役割分担
- ・事業の詳細設計
- ・実証後の普及約束



共同実証

- ・相手国に応じた微調整
- ・有効性を可視化



普及促進活動

- ・セミナー、マッチング、制度構築支援等のフォローアップ



日本の先進的な技術・システムの普及・拡大
我が国のエネルギー安定確保に貢献

